

Watching Carefully

取材・文／編集部



バーテンよ、  
武器を持って！  
しかして  
「コクテル」の  
称号は  
得られん！！

「バーテン」と「バーテンダー」は違う。誰に言われずとも、それを知っているから「KBT (Kivamachi Bar Tenders)」のカクテルパーティーである。声掛けをしたのは「Bar tonbo」の式部詩織さんという女性なのだが、いわゆる木屋町ノリだけの人ではなくて、オーセンティックバーに行くときの安心感と緊張感は素晴らしいが、木屋町にはまた違う良さがあると信じ、「バーテン」呼ばわりされることを嫌う。そこで「あまり語られることのない木屋町のバーでカクテル」というイベントを仕込んだわけだ。

「ショットバーやのにボトルキーブがあるとか、矛盾もありますけども（笑）、私たちもシェイカーを振るし、『自分たちのお酒の出し方に迷いはないか？』っていう立ち位置の確認も含めてね」。気骨充分である。木屋町に咲く、いくつものバーの扉。その扉の向こうは、それぞれで繰り広げられている。ただ、扉へ続く道を示したい。店の顔より人の顔。人の顔より酒の顔。バーとは「酒の味」を楽しむに行くところなのだから、そのことを忘れていない因子が木屋町にあったようだ。

# KBT

## COCKTAIL PARTY!!

Vol.1

先斗町の「club SERALE」に場所を借り、もちろんカクテル以外の酒も出したのだが「甘く見た…。まさかこれほどカクテルばかりオーダーしてもらえるとは…」と、主催者のひとりがつぶやいたという盛況ぶり。次回はレシピ切れになりませぬよう

初回はラムの「Havana Club」がお題で、投票制であった。最多得票は「フローズン・ハバナ・マンゴー (arpeggio/川崎浩一)」。他、「ストロベリー・ダイキリ (BAR KISS/大塚功大)」「12月の雨 (Caramel Mama/赤崎幸一)」「夕闇をひとり (Caramel Mama/金森昭則)」「カリビアン (Couleur Cafe/佐伯治郎)」「ハブール (SHANGHAI PASSION/出野準一)」「ジレンマ (ジレンマ/松岡宏樹)」「ハバナ・ムーン (BAR DylanII/岡崎修二)」「チョコ・ハバナ (BAR tonbo/式部詩織)」「ハバナ 柚子クーラー (FLAT0214/清水直樹)」「ハバナ (MIX/山城恵一)」と順不同で各カクテル・各店・各員の名称

